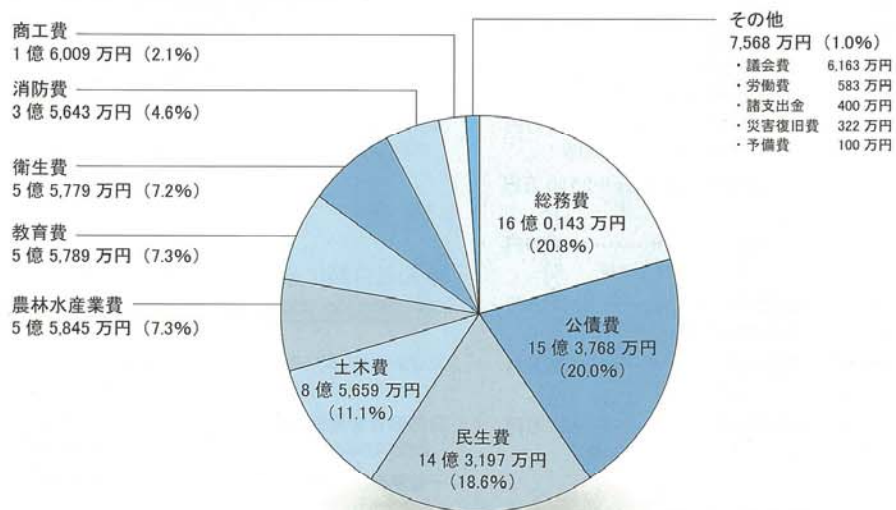


## 一般会計歳出の内訳

目的別(予算科目ごと)の歳出内訳は、下記の円グラフのとおりとなっています。町の借金返済に当たる公債費は、返済のピークが過ぎたことから昨年度より約2億円減少しましたが、歳出全体の20%を占めており、依然として厳しい財政状況にあります。

また、経費を性質別で分類した場合では、公債費が20.0%で最も多く、次いで職員給与などの人件費が17.5%、事業や団体運営に対する補助金などの補助費等が15.4%、道路や公営住宅などの整備に係る普通建設事業費が13.7%などとなっています。



※( )内は構成比

## ※各会計予算の概要

区分	平成22年度	平成21年度	前年比(%)
一般会計	76億9,400万円	71億2,900万円	7.9
国民健康保険特別会計	19億1,841万円	19億7,050万円	△2.6
老人保健特別会計	215万円	516万円	△58.3
下水道事業特別会計	7億7,522万円	9億0,962万円	△14.8
農業集落排水事業特別会計	1億2,256万円	1億5,346万円	△20.1
北海道介護福祉学校特別会計	1億3,667万円	1億3,446万円	1.6
介護保険特別会計	12億7,338万円	12億3,308万円	3.3
後期高齢者医療特別会計	1億6,806万円	1億6,705万円	0.6
水道事業会計	5億5,768万円	13億6,714万円	△59.2
合計	126億4,813万円	130億6,947万円	△3.2

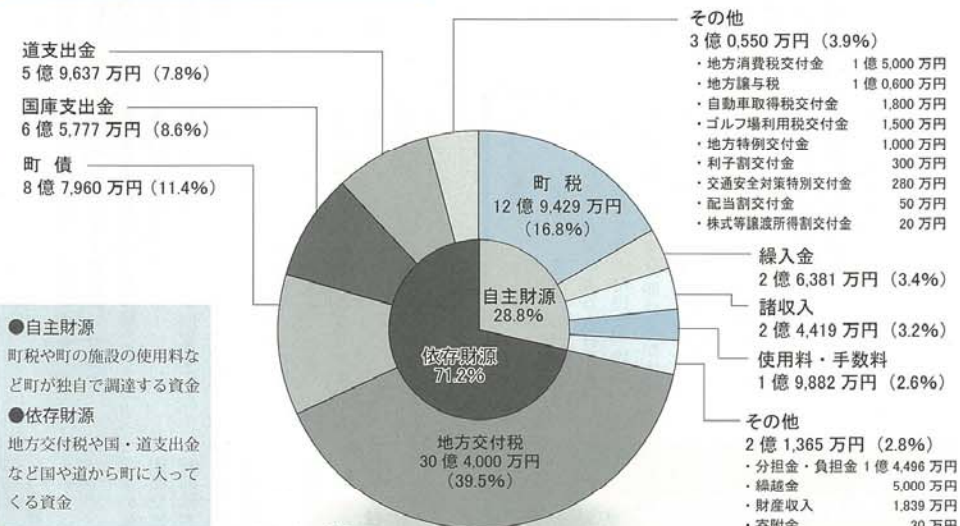
※栗山町には一般会計のほか、7つの特別会計と水道事業会計があります。特別会計とは、特定の収入で事業を行う会計で、左表では国民健康保険から後期高齢者医療までが該当しています。水道事業会計は、受益者負担で事業を行う独立採算の会計で、一般会計や特別会計とは異なり民間企業と同様の経営を行っています。

# 平成22年度 予算

## 第5次総合計画に基づいた次代に向けてのまちづくりに 総額126億4,813万円を投資

平成22年度一般会計、7つの特別会計および水道事業会計の予算が3月18日開催の第4回栗山町議会定例会で可決されましたので、その概要についてお知らせします。

## 一般会計歳入の内訳



※( )内は構成比

## ※一般会計予算額の推移



平成22年度は、第5次総合計画に基づく新規事業の実施により、前年を上回る予算額となりました。なお、歳入予算に占める依存財源は昨年度に続き7割を超えています。

平成22年度の一般会計の予算額は126億4,813万円、昨年度と比較し3.2%の増、金額では5億6,500万円の増となりました。

このうち、住民生活と関わり深い福祉、教育、産業など幅広い範囲の事業を行う一般会計は、76億9,400万円で、昨年度と比較し7.9%増、金額では5億6,500万円の増となりました。

歳入では、町税が長引く景気低迷による町民税の減収など落ち込む中、町の預金である財政調整基金などから必要な財源を取り崩すなど、必要となる財源を確保しました。

一方歳出では、行財政改革の指針である「がんばる栗山プラン21」に基づいた事業の見直しや経費節減を図るとともに、「第5次総合計画」による新しいまちづくりのための事業予算を確保、最少の経費で最大限の効果を上げるための予算編成を行いました。

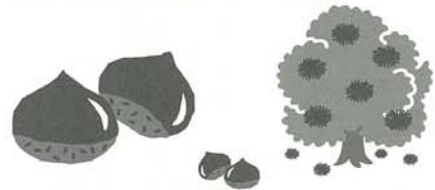
一般会計76億9,400万円



## 今年の主な事業の概要

平成 22 年度に実施する主な事業は次のとおりです。  
 なお、各事業は第 5 次総合計画の区分に従って掲載しています。

- 商店街振興対策事業……………585 万円  
 商業者が主体となって取り組む振興対策を支援
- スタートアップ支援事業……………200 万円  
 起業支援、新製品・新技術開発などを支援
- くりやまギフトカード加盟店会子育て応援事業…50 万円  
 ギフトカード加盟店が行う子育て応援事業を支援
- 移住者ネットワークの整備……………271 万円  
 定住および交流人口の拡大
- 栗の活用事業……………218 万円  
 町木「栗」を新たな地域ブランドとして推進



### ◆快適でやすらぐふるさとづくり

#### 都市基盤

- 都市再生区画整理事業調査……………960 万円  
 新町通り地区再生に係る事業調査など
- 景観条例策定および推進事業……………160 万円  
 住民参加による景観計画および景観条例の策定
- 道路整備事業……………9,014 万円  
 湯地継立線改良舗装事業ほか 1 事業
- 除雪用重機購入……………2,756 万円  
 13t 級除雪ドーザー 1 台更新
- 公営住宅整備事業……………3 億 4,235 万円  
 松栄団地 2 棟 20 戸建替、駐車場整備など
- 町営バス事業費……………4,806 万円  
 町営バス 6 路線運行
- 役場旧庁舎耐震改修事業……………3,688 万円  
 防災対策を推進
- 下水道事業……………2 億 7,659 万円  
 公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽

### ◆人々が輝くふるさとづくり

#### 教育・文化・スポーツ

- 特別支援教育支援員配置……………1,158 万円  
 児童生徒一人ひとりに応じた指導・支援を実施
- 北海道介護福祉学校運営事業……………4,369 万円  
 質の高い介護福祉士を養成
- 学校支援地域事業……………99 万円  
 学校・家庭・地域が連携した活動を展開
- 文化財保護保存事業……………21 万円  
 町内史跡パンフレット作成やふるさとを学ぶ機会の充実
- スポーツセンター耐震改修事業……………4,891 万円  
 安心して利用していただくための施設整備
- 総合グラウンド陸上競技場公認整備・検査……………406 万円  
 第 4 種公認に係る整備
- 少年ジェット派遣事業……………364 万円  
 次代を担う青少年の豊かな成長を支援



### ◆元気で活力あるふるさとづくり

#### 産 業

- 中山間地域等直接支払事業……………2 億 1,070 万円  
 生産条件不利地の耕作放棄防止など
- 農地・水・環境保全向上対策事業……………2,140 万円  
 農業・農村基盤維持、環境向上対策への支援
- 栗山町農業振興公社事業……………1,000 万円  
 農業振興全般に関する事業運営支援
- 農地流動化促進対策事業……………1,240 万円  
 農地集積により効率的農地活用を推進
- 農業基盤整備事業（道営事業）……………9,441 万円  
 南学田北部地区ほか 4 地区の農業生産基盤整備など
- 森林整備加速化・林業再生事業……………3,550 万円  
 基幹作業道日出線の開設

### ◆安心して暮らせるふるさとづくり

#### 医療・保健・福祉

- 健康相談・健診等事業……………1,666 万円  
 各種予防接種、乳幼児、妊婦健診など
- がん検診事業……………683 万円  
 女性特有のがん検診の推進など
- フッ化物洗口事業……………16 万円  
 保育所（園）、幼稚園、乳幼児健診での虫歯予防対策
- 栗山赤十字病院人工透析施設整備補助……………2,160 万円  
 平成 17 年度より支援
- すこやか赤ちゃん誕生祝金……………860 万円  
 第 3 子以降の出産に対するお祝いと成長の支援
- 乳幼児および児童医療費助成……………3,391 万円  
 義務教育終了までの医療費を無料化
- 緊急通報システム設置事業……………194 万円  
 1 人暮らしの高齢者世帯の安全を確保
- 福祉ハイヤー利用料金助成……………70 万円  
 心身に障がいのある方のハイヤー料金を一部助成



平成 22 年度予算を補正

## 栗山赤十字病院の救急医療を支援

3 月 18 日開催の第 4 回栗山町議会定例会で、平成 22 年度予算が可決された後、平成 22 年度補正予算として、栗山赤十字病院の救急医療体制維持に係る支援補助金（8,000 万円）を提案し、同日付けで可決されました。同病院では、救急医療継続のため、あらためて体制整備がなされるとともに、今回の支援と併せ、従来どおり平日夜間と休日診療の実施が確保されることになりました。

### ◆みんなが主役のふるさとづくり

#### 町民・地域・行政

- 自治区推進モデル事業・自治区交付金……………328 万円  
 地域で設立されたまちづくり組織の活動を支援
- 町民意識・満足度調査……………35 万円  
 総合計画見直しに当たり政策などに対する町民意識・満足度を調査
- 栗山町史発行……………170 万円  
 平成史（20 年）のダイジェスト版を発行

### ◆人と自然にやさしいふるさとづくり

#### 生活・環境

- エコツーリズム・モデル開発支援事業……………1,170 万円  
 ハサンバツなどを活用した自然保護や環境教育に係る人材育成など
- 自然教育資源保全等事業……………456 万円  
 自然教育推進のための調査、資料収集、体験施設の環境整備など
- 一般廃棄物中間処理施設整備事業……………2 億 4,772 万円  
 最終処分場の延命化を目指した炭化施設の設置
- ごみ収集車購入事業……………1,250 万円  
 4 t 塵芥収集車 1 台購入
- 栗山町墓園造成事業……………321 万円  
 H 23 造成に向けた測量調査など